



サツキとメイの家



禁煙

国家公務員共済組合連合会 名城病院長

早川 哲夫

日本病院機能評価機構

は「良い病院」の条件として敷地内禁煙を病院に要求している。名城病院も二〇〇三年に合格し、今年は更新の年である。名城病院も今年一月から敷地内禁煙としている。

良い機会なので、名城病院に縁のある人は禁煙に挑戦して下さい。

現在は禁煙パイポよりも役立つニコチンパッチ、ガムなどの小道具は勿論、禁煙外来まである。ニコチン依存症の禁断症状はパッチで解消できる。

大げさに考えず、先ず禁煙を始め、挫折しても、また、禁煙をくり返せば、半分は成功したようなものである。禁煙開始を決めかねて迷うより、今すぐ、三十分でも、一時間でも止めることが大切である。たとえ、途中でタバコを吸っても、また、禁煙すれば、本数は確実に減る。

日本政府は財政赤字解消のために、医療費を削り、病院を潰して、国民が医療費をつかえないようにしている。また、がんとメタボの撲滅が医療費削減の鍵と信じて、国を挙げて対応を始めた。しかし、がんと生活習慣病の予防効果は下手な対策よりも禁煙が最も効果的である。

タバコの値段を上げて、消費量を減らせば、タバコからくる健康被害の治療費、タバコの火の不始末による火事、焼死などの物的、人的損失を確実に削減できる。タバコによる損失は収入よりも数十倍も大きいぞうだ。

行動経済学的分析の結果では、禁煙できない人は禁煙成功者と比べて、将来の二〇〇円よりも、一〇〇円でのいから今すぐ欲しいと考えるような近視眼的傾向があるぞうだ。タバコの収入にこだわる日本政府にも禁煙できない人が多いのかも知れない。

禁煙できないでいる人も劣等感を持つことはない。外国への長時間の飛行機中の禁煙を機会に禁煙に成功した人もいる。

昔、小野道風は蛙が失敗をくり返しても柳の枝に向かって跳躍をくり返すのを見て、自分も習字を諦めずに続けて、天下の三蹟に入る字の上手な書家になったぞうだ。

愛煙家の皆さん、諦めないことが大切です。今から禁煙を始め、何回でも再挑戦して下さい。くじけそうになったら名城病院の禁煙外来に顔を出してみましよう。

禁煙成就を祈っております。

名城病院の理念

1. 良い医療を安全、確実に提供することは、私たちの使命です。
2. そのために、私たち、職員全員は、プロ意識を持ってそれぞれの技術とサービスを向上させ、医療の質と安全の管理に最大限の努力を払います。
3. 私たちは、患者様の権利を尊重し、最もふさわしい、納得の行く医療を行います。
4. 私たちは、地域社会と協力して人々の健康と福祉の向上に奉仕します。
5. 私たちは、病む人には安らぎと満足を、職員には働きやすさと誇りの得られる病院をめざします。

以上のとおり、病院の果たすべき使命とあるべき姿を認識し、皆さんに「親しまれ、信頼され、喜ばれる病院」であるように、常に努力します。

患者さまの権利

名城病院は患者の皆さまの権利を尊重します。

1. 安心して最善の医療を受ける権利を尊重します。
(適切な医療を受ける権利)
2. 治療に関する情報を知り、説明を受ける権利を尊重します。
(知る権利)
3. 治療に関する方法を自己の意志で決定する権利を尊重します。
(自己決定の権利)
4. 個人の情報が保護される権利を尊重します。
(プライバシーが保護される権利)

これらの権利を守り発展させるため、患者の皆さまは私たちと協力し、医療に参加していただきます。

(医療に協力する責任)



より快適な歯科・口腔外科治療を目指して

— 静脈内鎮静法あるいは静脈麻酔（ニューロレプト無痛法）
を用いた歯科・口腔外科治療 —

歯科口腔外科部長 服部 浩朋

より快適な歯科・口腔外科治療を目指し、私どもが日常行っております「静脈内鎮静法あるいは静脈麻酔（ニューロレプト無痛法）を用いた歯科・口腔外科治療」を紹介させていただきます。

この方法は、麻酔薬剤を腕の血管から静脈注射することにより、「意識があるのに周囲に無関心となり、痛みを感じにくい状態」を作り出し、患者さまがその雰囲気



にあるうちに抜歯術などの口腔外科治療を行うものです。この状態は、ちょうどお酒を飲んでほろ酔い、あるいはちょっと飲みすぎて記憶がない時の状態に似ています。ただ、お酒と違って嘔気を催すことはありませんし、爽やかに目覚めます。治療中はフワフワとしていい気分になります。自分の力で呼吸をし、会話をすることも可能です。いびきをかいて眠ってしまう患者さまもいらっしゃいます。しかし、治療後にお聞きしますと「治療中のことは全く覚えていない。」とお答えになる患者さまがほとんどです。すなわち、治療中は痛みや苦痛がなく、「無痛治療」を可能にする方法



とも言えましょう。抜歯をはじめとする口腔外科治療を前にして大きな恐怖感を感じるのは極めて自然なことです。恐怖のあまり治療中の血圧が上昇し、心臓に大きな負担と

なります。この「無痛治療」は心臓病の患者さまにも安全な方法です。治療後は、麻酔の効果を打ち消す薬剤を注射しますので瞬時に麻酔から覚めます。治療後2時間もすれば飲食も可能です。手術室のみならず外来診察室でも治療が可能です。通院治療として本法を行うことも全く不可能ではありませんが、患者さまの安全のために当科では1泊以上の入院をお願いしています。

現在は抜歯術、小手術など口腔外科治療の際に本法を行っていますが、今後は歯科の麻酔注射や歯の神経を抜く治療にどうしても耐えられないという患者さまの歯科治療にも本法の適用範囲を拡大してまいりたいと考えています。ご希望の患者さまは遠慮なくご相談ください。

NEWS



市民公開講座のお知らせ

名城病院では市民公開講座を行います。
ご自由にご参加ください。
(参加費無料)

第3回 市民公開講座

テーマ 「元気はつらつ・食生活」
中高年の食事について

講師 名城病院 管理栄養士 井浪 澄子

日時 平成20年6月13日（金）
午前11:00～12:00

会場 名城病院 地下1階 大会議室

お問い合わせ先・ご予約

名城病院 庶務課 公開講座係

☎(052)201-5311 内線 2156

TOPICS

厚生労働大臣表彰を受賞

検査部輸血室長
大江 幸雄 氏



臨床検査技師の輸血室長 大江幸雄氏が、厚生労働大臣表彰を受賞されました。臨床衛生検査業務を通して医療の向上発展に取り組んでこられた功績が認められました。

新任ドクター紹介

よ
ろ
し
く
お
願
い
し
ま
す

●放射線診断科



部長
山名大吾
やまな だいご

●整形外科



佐藤貫洋
さとう みちよし

●歯科口腔外科



児玉堅志
こだま けんじ

●専修医



内科専修医
名倉明日香
なぐら あすか



内科専修医
安江由貴
やすえ ゆき

●研修医



池森左也佳
いけもり さやか



河部 遥
かわべ はるか



北折麻由美
きたおり まゆみ



鈴木克彦
すずき かつひこ



瀬崎久美子
せざき くみこ



鳥本敦史
とりもと あつし



人羅悠介
ひとら ゆすけ



水田みな子
みずた みなこ

この4月より新しい科として放射線診断科を担当することになりました。同じ連合会病院として、虎の門病院、三宿病院について名城病院にお世話になることを大変うれしく思っております。すばらしい環境、施設、人材の三位一体を示現している病院と思います。私の専門のモダリティはヘリカルCTで、読影領域はの胸腹骨盤部が主体となります。これからは若い医師の教育にも力を入れていく所存です。どうか気軽に読影室に来てください。

この4月より宮城県 of 病院より転任いたしました。自治医大という地域医療中心の診療を行う大学出身なので、全ての環境が変わりましたが、安全かつ高度な医療に少しでも貢献できるように頑張りますので宜しくお願いいたします。

はじめまして。刈谷から名古屋に転動してきました。元気な街、名古屋で働くことを嬉しく思います。患者さんのお役に立てるよう一生懸命頑張ります。

小集団活動発表会

スマイル・スマイル・スマイル
～患者さんに選ばれるための接客改善～

外来TQMリーダー 近 直子

私達は、3年計画で「接客」について取り組んできました。最後の年にこのような賞を頂くことができ、とても嬉しく思います。3年間の活動に協力して下さったスタッフ全員の努力の賜物だと思っています。今回は、接客の中でも「笑顔と挨拶」にテーマを絞ったことで、わかりやすく具体的な活動ができました。スマイルパッチ

の配布や挨拶の標語ポスター、院長や診療部長、看護部長のスマイルポスターなどカラフルな絵や写真を取り入れ、見る人の興味をひく工夫をしました。また去年の活動で「外来スタッフ全員の協力が得られなかった」という反省から、今回は毎月、各外来で患者さんへの対応について検討してもらい、その内容とスタッフの紹介写真をTQM便りに掲載しました。こうすることで、多くのスタッフが活動に参加でき、また、各外来の患者さん対応の問題や改善策を皆で共有することができました。今回は、医療事務(クリエイト)さん

3月20日1階ロビーにおいて小集団活動(TQM)発表会を行いました。小集団活動発表会は、各部署の医師、看護師、技師等がチームをつくり1年間行ってきた業務改善や研究成果を発表する場です。本年度は13題の発表があり、そのなかから最優秀賞を受賞した外来チームの感想をご紹介します。



外来チームによる接客研修会の様子

にも多大なご協力を頂き、とても感謝しています。「接客」は一部のスタッフが努力しても病院の評価にはつながりません。患者さんが医療を選ぶ時代となり、患者さんへのサービスに対する評価も厳しくなっています。つつい忙しくてイライラすることもあるとは思いますが、「笑顔と挨拶」を忘れずに頑張らしましょう!



発表は寸劇を交えて楽しく行われました



4月4日・5日と新人看護師の合宿研修を行いました！

「合宿研修を終えて」

手術室 原 彩乃

1泊2日の合宿研修があると知り、正直始めは、まだあまり知りもしない人達と泊まりで研修なんてと不安に思っていたけど、不安はなくなり、逆にこのような研修があってよかったと思いました。私は手術室に配属になり、同期は2人いますが、2人とも経験者だからなんか1人のような気がしていたからです。

今回の合宿研修で多くの人と話して研修をするうちにだんだんと仲良くなり、これから悩んだ時とか同じ

部署の人はもちろん、それ以外の人にも相談できる気がしたからです。今回の合宿研修がなかったらなかなか同期とはいえ、親しくなれる機会がなかったと思うので、合宿研修がありよかったです。1人で頑張っていくのではなく、同期と支え合い頑張っていくと感じました。



「オリエンテーション、合宿を通して」

5階病棟 清水美帆

今回の研修では「連携」の大切さを知った。

一つ目は様々な部署からのオリエンテーションを受ける事により、多くの職種が存在し個々に専門性を発揮し繋がり合う事で医療や患者さんを支えている事を再認識することができた。

二つ目に、グループワークや合宿を通して仲間との繋がりが深まった。双方だけでなく、仲間の全体に目を向け、思いやり助け合う事で可能性が広がり、その関係をも強くする事を学んだ。

年代や経験も違う仲間が集まる事で違う視点から物事を見る事が出来たり、自己を見つめ直すきっかけが出来た。新しくできた仲間との関係を大切にし、自分のペースで一人前になれるよう努力していきたいと思う。



名城病院診療等のご案内

<http://www.meijohosp.jp>

■ 診療科目

内科・循環器科・小児科(小児循環器)・外科
整形外科・脳神経外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科
産婦人科・眼科・歯科口腔外科・神経内科

※神経内科及び午後の診療等、詳しくは 医事課 (052)201-5311
内線2132にお問い合わせ下さい。

※医療福祉に関するお問い合わせは、

医療福祉相談室 内線 5105まで

※医療機関の方へ

病診連携に関するお問い合わせは、

病診連携室 内線 2151まで

■ 診察受付時間

新患受付 午前8:30～11:30まで

再来受付 午前8:00～11:30まで

■ 面会時間

平日 午後0:30～8:00まで

土・日・祝

但し、①小児科病棟は、午後7:00まで

②ベビーの面会は、
午後0:30～1:30まで
午後3:30～4:30まで
午後6:30～7:30まで } の3回です。

③ICU室への面会は30分以内に限定させていただきます。

■ 診療案内

休診日 土曜日・日曜日・祝日

年末年始(12月29日～1月3日)・創立記念日(11月6日)

■ 所在地

〒460-0001 名古屋市中区三の丸1-3-1

TEL (052)201-5311 FAX (052)201-5318



編集後記

喫煙者各位：

「禁煙なんて簡単だよ。僕なんか何度もしたことがある。」と言ったのは、確かアメリカの作家マーク・トゥエインだったと思います。禁煙は継続するのが難しいということでしょう。世の中がこれほどタバコを目の敵にする時代に、むしろ吸い続けることの方が、勇気と強靭な意志を要すると思うのは私だけでしょうか？継続とは、何も一年とか、いきなり長く設定しなくても、例えば病院にいる間だけとか、これを徐々に長くしていけば良いのではないのでしょうか。タバコをはじめて吸うのにも勇気が要ったと思います。さらに禁煙する(タバコと決別する)勇気もそれを継続する忍耐力も、タバコを吸ったことのない人には決してないわけですから、喫煙者は胸を張って禁煙にトライしてみましょう。

現在12年間禁煙を継続中の職員より